

公益財団法人 大学基準協会による第3期大学評価（認証評価）の結果を受けて

創価大学は、2021（令和3）年度、公益財団法人大学基準協会（以下、協会）による大学評価（認証評価）を受け、協会が定める大学基準に「適合」していると認定されました。認定期間は、2022（令和4）年4月1日から2029（令和11）年3月31日までの7年間です。

認証評価とは、法令に基づきすべての大学が7年（専門職大学院は5年）に一度、教育研究などの状況について、文部科学大臣が認証した第三者機関（認証評価機関）によって、評価を受ける制度です。本学は2014（平成26）年度に受審し、適合しているとの認定（期間：2015（平成27）年4月1日から2022（令和4）年3月31日まで）を受けていましたが、適合期間満了に伴い、この度3度目の認証評価を受けました。

評価結果では、協会が定める基準のうち「理念・目的」、「教育課程・学習成果」、「教員・教員組織」、「学生支援」、「教育研究等環境」、「社会連携・社会貢献」に関する取り組みについて、6つの「長所」を取り上げて頂きました。「学生のための大学」を標榜し、絶え間なく教育改革を推進してきた成果であると思います。しかしながら、「是正勧告」はなかったものの、「改善課題」として2つの指摘事項がありました。長所については更なる伸展を図り、改善については真摯に受け止め、改善・改革に向けて取り組んでまいります。

この度の認証評価申請を行うにあたり、内部質保証体制を強化するため、2019（平成31）年4月に「創価大学内部質保証推進委員会」を設置し、本学の建学の精神、教育目標および3つのポリシーに基づく教育・研究活動の促進、並びに自己点検・評価活動の充実を図ってまいりました。さらに、自己点検・評価活動の客観性、公平性を高める目的で、高等教育界や産業界、地域社会の有識者から構成する「外部評価委員会」を設置し、本学の各種事業の評価も受けています。今後は内部質保証推進委員会を中心として、教学マネジメントのさらなる強化を図るとともに、IR情報を活用した学習成果の可視化や学生へのフィードバックなど、教育・研究活動の推進に努力していく所存です。

本学は、2021（令和3）年4月に創立50周年を迎え、新たに「Soka University Grand Design 2021-2030」を策定しました。このグランドデザインでは、「価値創造を実践する『世界市民』を育む大学」とのテーマを掲げ、「教育」、「研究」、「SDGs」、「ダイバーシティ」の4つを柱に、さまざまな取り組みを計画しています。

これら一つ一つの活動を着実に実行するとともに、適切に点検・評価を行い、改善・向上していく継続的・恒常的なプロセスを通じて、より一層大学改革に取り組んでまいります。

最後に、協会関係者をはじめとする本学の大学評価にご尽力頂いた皆さまに、あらためて心からの感謝の意を表します。

2022（令和4）年3月30日
創価大学内部質保証推進委員会委員長
創価大学 学長 馬場 善久